

實菱答里斯葉
 古魯聖篤實
 印度大麻草
 菲沃斯草
 荳蔻草、別刺敦那草
 甘汞(亞格魯兒汞)、輕粉黃色沃度魯(亞沃度汞)
 白降汞
 沃度仿謨
 沃度
 苛性加里(腐蝕剝篤亞斯)
 格魯兒酸加留謨(鹽素酸加留謨)
 沃度加留謨
 結麗阿曹篤
 刺苦丟葛留謨
 荳蔻擦劑、別刺敦那擦劑
 偃答百兒加液
 鉛錯(次醋酸鉛液)
 苛性那篤倫(腐蝕曹達)
 揮發芥子油
 阿片
 古魯聖篤菲沃斯丸
 挖散勿兒(阿片吐根散)
 醋酸鉛(鉛糖)
 藥刺巴根
 吐根

荳蔻根、別刺敦那根
 藥刺巴脂
 剝度比爾謨脂(剝度比爾林)
 珊瑚學
 麥角
 古爾矢偃謨子
 番木鱉子
 加刺拔兒豆
 番木鱉子
 吐酒石
 金硫黃(五硫化安知母紐謨)
 知母爾
 錫答利斯丁幾、芫菁丁幾
 古爾矢偃謨丁幾(古魯聖篤丁幾)
 沃度丁幾
 實菱答里斯丁幾
 魯別里亞丁幾
 吐根丁幾
 阿片丁幾
 阿片安息香丁幾(阿片樟腦丁幾)
 荳蔻丁幾、別刺敦那丁幾
 番木鱉丁幾
 古爾矢偃謨酒
 吐根酒
 芳香阿片酒(舍電華謨阿芙蓉液)
 吐酒石酒

格魯兒亞鉛

硫酸亞鉛(皓礬)

以上日本局方第三表ニ掲載セルモノ

硝酸(王水)

格羅酸鹽類

粗製硝酸

萆酸

ピクリン酸及其鹽類

發烟硫酸

強安母尼亞水

格魯兒拔留謨、硝酸拔留謨其他拔留謨鹽類

攝留謨鹽類

コロ、ダイン

咖啡涅鹽類

硫酸銅安母紐謨(銅礪礬)、錯酸銅、次錯酸銅(綠青、山綠、強銅、荒綠青)

次炭酸銅(扁青、紺青)、硝酸銅

サビナ葉、及其製劑

曼陀羅華葉、子及其製劑

楠實(日本産大茴香)

グアヤコール

藤黃(辨天雌黃)

古紐謨草及其製劑

汞灰散(銀灰散)

硫酸汞(硫酸酸化汞)

沃度爾

揮發苦扁桃油

サビナ油

アユニット根(雙鸞菊、烏頭、附子ノ類)及其製劑

藜蘆根及其製劑

巴豆

サバゲルラネ

ストロファンツス子及其製劑

フエロース次亞磷酸鹽舍利別

酸化安知母紐謨

醋酸亞鉛、炭酸亞鉛、纈草酸亞鉛

貌羅謨水素酸

古埵乙涅鹽類

バラアルデヒード

商陸越幾斯及其他ノ製劑

答爾林鹽類

アガリチン及其鹽類

フオルムアルデヒード液

スルフオナール

アエナセチン

トリオナール

ツベルクリン

ユツホ氏新ツベルクリン

ガフテリアノ血清

破傷風血清

ザウレチン

鹽酸ヘロイン

○賣藥營業鑑札領收證ニ登記印紙貼付方ノ件 明治二十五年四月 大藏省訓令第一八號 廳府縣
賣藥營業免許鑑札料登記印紙貼付方ハ願書ニ印紙ヲ貼付セス鑑札下付
ノ際印紙ヲ貼付シタル鑑札領收證ヲ出サシムヘシ

△賣藥行商鑑札ヲ紙製ト爲スコトヲ得ルノ件 明治二十六年六月 內務省訓令第九號 廳府縣
賣藥行商鑑札ハ紙製ト爲スコトヲ得此場合ニ於テハ烙印ヲ朱印トナス
ヘシ

○廢棄賣藥既貼印紙交換ニ關スル手續 明治二十七年四月 大阪府令第六〇號

明治十九年^{七月} 大藏省令第二十三號賣藥印紙交換規則ニ據リ廢棄賣藥既
貼印紙交換ヲ請ハントスルモノハ左ノ手續ニ據ルヘシ

第一條 印紙交換願ハ第一號様式ニ依リ調製シ失効賣藥ノ現品ヲ添付

シ所轄收稅署ニ差出スヘシ

他管廳ノ證明書ヲ以テ交換印紙ノ下付ヲ請フモノハ第二號様式ニ依
リ其願書ヲ調製シ證明書ヲ添付シテ收稅部ニ差出スヘシ

第二條 他府縣管下ノモノニシテ既貼印紙ノ消印證明ヲ請フモノハ第
三號様式ニ依リ其願書三通ヲ調製シ失効賣藥ノ現品ヲ添付シ所在收
稅署ニ差出スヘシ

第三條 既貼印紙消印済ノ藥品下付ヲ受ケタルトキハ第四號様式ニ依
リ其領收證書ヲ差出スヘシ

第四條 交換新印紙ノ下付ヲ受ケタルトキハ第五號様式ニ依リ其領收
證書ヲ差出スヘシ

(様式ハ略之)

△藥種商ニシテ毒劇藥ヲ開緘零賣シタルトキノ件 藥種商ニシテ毒
劇藥ヲ開緘零賣シタルモノハ監視員封緘檢印ノ上下戻シテ可然哉 (明治二十

七年十二月鹿兒島縣問合)藥種商ニシテ毒劇藥ノ容器ヲ開緘シタルトキハ更ニ規則第二十二條ニ記載セルモノ、封緘ヲ受ケシメ其封緘ヲナス迄掛官吏ニ於テ假ニ封緘ヲナスハ必要ノコト、存ス(明治二十七年十月二十日衛生局回答)

△「スコット」、「エマルシヨ」ニ關スル件明治二十七年十二月東甲第一三三號衛生局長ヨリ大阪府知事ヘスコット、エマルシヨノ儀ハ主治効能其他裝置等全ク賣藥ノ要素ヲ具備スルヲ以テ從來賣藥トシテ取扱來候處元來該品ノ性質タル治病ヲ目的トスルニアラスシテ病後ノ衰弱ヲ快復シ又ハ稟性ノ虛質ヲ補益スル等專ラ滋養ノ食品ニシテ主治効能等全ク治病ヲ目的トスル廉無之ニ於テハ尙之ヲ賣藥ト看做スコトヲ得ス候ニ付今般別紙甲號東京府知事ノ伺ニ對シ乙號ノ通指令相成候條依命此段及御通知候也
追テ主治効能及用法ヲ附記シ全ク治病ノ目的ヲ有スルモノハ内外國品ヲ問ハス賣藥トシテ取扱候儀勿論ニ付若シ外國品ニシテ其區別判然セサル品種有之候ハ、現品ヲ添へ當局へ御申越相成度此段申添候也

(別紙略ス)

○藥品ノ封緘ニ印紙ヲ貼付スル者藥品其他飲食物等ノ検査ヲ以テ營業トスルモノ心得ノ件明治三十年三月内務省令第二號

藥品ノ封緘ニ印紙ヲ貼付スル者ハ明治二十年六月内務省告示第二號衛生試驗所検査印紙ト同色若クハ之ニ紛ハシキ外觀ヲ有スルモノヲ用ヒ封緘ヲ爲スコトヲ得ス

藥品其ノ他飲食物等ノ検査ヲ以テ營業トスル者ハ其ノ検査所ノ名稱又ハ名稱ノ附記ニ衛生試驗所又ハ同音ノ文字ヲ使用スルコトヲ得ス
本令施行前其ノ検査所ノ名稱又ハ名稱ノ附記ニ衛生試驗所又ハ同音ノ文字ヲ使用シタル者ハ本令施行ノ日ヨリ改稱スヘシ
本令ニ違背シタル者ハ拾圓以内ノ罰金ニ處ス

本令ハ明治三十年六月一日ヨリ施行ス

○阿片法明治三十年三月法律第二七號

第一條 阿片ヲ製造セムトスル者ハ地方長官ノ許可ヲ受クヘシ

第二條 阿片製造人ハ毎年十二月二十日迄ニ其製造シタル阿片ヲ政府ニ納付スヘシ

前項ノ阿片ハ政府ニ於テ試験ヲ施シ其ノ莫見比混含量所定ノ度ニ適スルモノニハ賠償金ヲ交付シ其ノ不適品ハ無償ニテ焼却ス

第三條 阿片ハ政府ニ於テ醫藥用品ニ限り封緘ヲ施シ之ヲ賣下クルモノトス

政府ノ賣下ケタル阿片ノ外ハ賣買授受所有又ハ所持スルコトヲ得ス

第四條 第二條ニ依リ賠償金ヲ交付スヘキ阿片ノ莫見比混含量及賠償金額竝ニ第三條ニ依リ賣下クヘキ阿片ノ價格ハ内務大臣之ヲ告示ス賠償金ヲ交付スヘキ阿片ノ莫見比混含量ヲ増加シ又ハ賠償金額ヲ低減セムトスルトキハ一箇年以前ニ告示スヘシ

第五條 阿片ハ地方長官ヲシテ其ノ管内藥劑師藥種商中相當ノ人員ヲ

限り卸賣人ヲ指定シテ賣下ケシム

第六條 醫師及藥品營業者ニ於テ阿片ヲ要スルトキハ數量竝ニ住所氏名年月日ヲ記シ調印シタル證書ヲ以テ卸賣人ヨリ購求スヘシ

醫師及製劑者ハ阿片ヲ藥劑師藥種商ヨリ購求シ又ハ藥劑師藥種商互ニ之ヲ賣買スルコトヲ得此場合ニハ前項ノ證書ヲ以テスヘシ

第七條 阿片ハ前條ノ外醫師ノ處方箋ヲ以テスルニ非サレハ賣買スルコトヲ得ス

藥劑師ハ政府又ハ他ノ藥劑師ニ於テ封緘シタル容器ヲ開キテ阿片ヲ零賣スルコトヲ得此場合ニハ適當ノ容器ニ納メ之ヲ封緘スヘシ

藥種商ハ卸賣人タルト否トヲ問ハス政府又ハ藥劑師ニ於テ封緘シタル容器ヲ開キテ零賣スルコトヲ得ス

第八條 處方箋竝ニ第六條ノ證書ハ其ノ日付ヨリ滿十箇年間之ヲ保存スヘシ

第九條 地方長官ノ許可ヲ受ケスシテ阿片ヲ製造シタル者又ハ第三條

第二項ニ違背シタル者ハ百圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十條 地方長官ノ許可ヲ受ケスシテ製造シタル阿片又ハ政府ノ賣下

ケタルニ非カル阿片ハ之ヲ沒收ス

第十一條 第二條第一項ニ違背シタル者ハ參拾圓以上參百圓以下ノ罰

金ニ處ス

第十二條 第七條第八條ニ違背シタル者ハ拾圓以上百圓以下ノ罰金ニ

處ス

第十三條 阿片製造人又ハ阿片卸賣人此ノ法律又ハ其ノ施行ニ關スル

規則ニ違背シタルトキハ地方長官ハ其ノ許可又ハ指定ヲ取消スコト

ヲ得

附 則

第十四條 此ノ法律ハ明治三十年四月一日ヨリ施行ス

第十五條 此ノ法律施行ノ日現ニ阿片製造人タルノ許可ヲ有スル者ハ

第一條ノ許可ヲ受ケタルモノト看做ス

第十六條 此ノ法律施行以前地方廳ニ預リ置キタル阿片ハ之ヲ燒却ス

第十七條 明治十一年布告第二十一號藥用阿片賣買竝ニ製造規則ハ此

ノ法律施行ノ日ヨリ廢止ス

○阿片法施行規則 明治三十年三月
內務省令第四號

第一條 阿片製造人阿片ヲ納付セントスルトキハ納付書ニ阿片ノ量目

ヲ記シ現品ヲ添ヘ地方廳ヲ經テ內務省ニ申出ツヘシ但現品ニハ量目

及本人ノ住所氏名ヲ記シタル木札ヲ付スヘシ

地方廳ニ於テ前項ノ納付書ヲ受ケタルトキハ現品ハ最寄衛生試驗所

ニ送致シ納付書ハ其旨ヲ付記シテ內務省ニ進達スヘシ

衛生試驗所ニ於テ前項ニヨリ阿片ノ送致ヲ受ケタルトキハ試驗ヲ施

シ其成績ヲ內務省ニ報告スヘシ

但五匁未滿ノ納付品ハ試験ヲ施スニ及ハス

第二條 政府ニ於テ賣下タル阿片ノ容器ハ一匁入十匁入五十匁入ノ三種トシ每器衛生試験所ノ印紙ヲ以テ封緘スルモノトス

第三條 阿片卸賣人ハ政府ノ會計年度ニ依リ(以下年度トアルモノ皆之ニ依ル)半年度毎ニ拂下ケヲ受クヘキ阿片ノ數量ヲ豫算シ容器ノ種類員數ヲ記シ之ヲ地方廳ニ請求スヘシ但缺乏ノ節ハ臨時請求スルコトヲ得

第四條 阿片卸賣人ハ其ノ店頭ニ阿片卸賣所ト書シタル看板ヲ掲クヘシ

第五條 阿片製造人及阿片卸賣人族籍住所氏名ヲ變換スルカ又ハ廢業若クハ死亡シタルトキハ十日以内ニ地方廳ニ届出ツヘシ

阿片製造人及阿片卸賣人廢業シタルトキ又ハ死亡シ相續者ノ業ヲ繼カサルトキハ既製ノ阿片及販賣殘餘ノ阿片ハ前項ノ期日内ニ納付シ又ハ買戻ヲ請求スヘシ但販賣殘餘ノ阿片ハ本條ノ期日内ニ同業者ニ

讓渡スコトヲ得

第六條 第五條ノ届出納付及買戻ノ請求ハ死亡ノ場合ニ於テハ戶主之ヲ爲スヘシ戶主未定又ハ不在ナルトキハ死者ノ相續者相續者未定又ハ不在ナルトキハ其財産ヲ管理スル者之ヲ爲スヘシ

第七條 地方廳ニ於テハ阿片卸賣人ヲ指定シ又ハ指定ヲ取消シタルトキ及卸賣人住所氏名ヲ變換シ又ハ廢業若クハ死亡シタルトキハ其ノ住所氏名ヲ管内ニ告示シ同時ニ内務省ニ報告スヘシ

第八條 藥劑師藥種商ハ卸賣人タルト否トヲ問ハス阿片ノ受拂高竝仕入元賣渡人ノ住所氏名年月日ヲ簿記シ十年間之ヲ保存スヘシ但藥劑師ニ於テ醫師ノ處方箋ニ依リ患者ニ與フルモノハ本條ノ簿記ヲ要セス

第九條 阿片卸賣人ハ毎年度ノ阿片受拂表一通ヲ製シ年度後一箇月以内ニ地方廳ニ差出スヘシ

地方廳ハ毎年度阿片受拂表ヲ製シ年度後二箇月以内ニ内務省ニ報告スヘシ

第十條 第四條第九條ニ違反シタル者ハ五拾錢以上壹圓九拾五錢以下ノ科料ニ處ス

第十一條 第五條第八條ニ違反シタル者ハ貳圓以上貳拾五圓以下ノ罰金ニ處ス

附 則

第十二條 此ノ規則ハ明治三十年四月一日ヨリ施行ス

△阿片法第四條ニ依リ賠償金ヲ交付スヘキ阿片ノ莫兒比涅含量及其ノ賠償金額竝ニ政府ニ於テ賣下クヘキ阿片ノ價格 明治三十年三月内務省告示第三〇號

阿片法第四條ニ依リ賠償金ヲ交付スヘキ阿片ノ莫兒比涅含量及其ノ賠償金額竝ニ政府ニ於テ賣下クヘキ阿片ノ價格左ノ通定ム
但莫兒比涅含量九分以上ノ阿片ニ對スル賠償金額ハ明治三十一年三

月三十一日迄ハ從前ノ買上價格ニ依ル

賠償金ヲ交付スヘキ阿片ノ莫兒比涅含量
阿片百分中莫兒比涅五分以上

阿片賠償金額

阿片百分中莫兒比涅五分以上六分未滿ノモノ	百匁ニ付金壹圓
同六分以上七分未滿ノモノ	同 金壹圓五拾錢
同七分以上八分未滿ノモノ	同 金貳圓
同八分以上九分未滿ノモノ	同 金貳圓五拾錢
九分以上十二分未滿ハ一分ヲ増ス毎ニ金壹圓十二分以上ハ一分ヲ増ス毎ニ金五拾錢ヲ加フ	
五匁未滿ノ納付品ハ莫兒比涅含量ニ拘ハラズ百匁ニ付金壹圓ノ割ヲ以テ賠償金ヲ交付ス	
阿片賣下價格	

一 匁入 金拾錢 十匁入 金壹圓 五十匁入 金五圓

△阿片燒却手續 明治三十年三月 內務省訓令第三一八號

衛生試驗所

一 阿片ノ燒却ハ試驗ヲ爲シタル衛生試驗所長之ヲ行フヘシ

但內務省官吏ヲシテ立會ハシムルコトアルヘシ

一 阿片燒却期日ハ毎年四月十五日トス

一 阿片ノ燒却ヲ了リタルトキハ納付者ノ住所氏名年月日及量目ヲ記シ

衛生試驗所長及立會官吏アルトキハ其官吏連署ノ上內務大臣ニ報告

スヘシ

一 阿片燒却ノ際製造人ニ於テ縱覽ヲ望ムトキハ之ヲ許スヘシ

△阿片卸賣人指定ノ件 明治三十年四月 大阪府告示第一六二號

阿片法第五條ニ依リ本管内藥劑師藥種商中左記十五名ノ者ヲ阿片卸賣

人ニ指定シ其賣下ヲナサシム

大阪市東區平野町四丁目

大井ト新

同市東區道修町二丁目

同市西區京町堀五丁目

大阪府泉南郡岸和田町

同府北河內郡今津村

大阪市東區道修町二丁目

同市東區道修町二丁目

同市北區堂島船大工町

大阪府泉南郡中之庄村

同府泉南郡岸和田町

同府三島郡茨木村

同府南河內郡三日月市村

同府堺市熊野町

同府同市宿屋町

小野市兵衛

阿部德治郎

今村庄平

川上五平

武田長兵衛

田畑利兵衛

高橋岩吉

平松市五郎

平松保三

樋口新平

南文治

森口德平

山中吉平

大阪市東區道修町三丁目

△賣藥鑑札料徵收方

明治三十年七月
大阪府訓令第五二號

郡役所

市役所

區役所

賣藥鑑札料自今其役所ニ於テ徵收スヘシ

○藥劑師化學者及會社等ニシテ醫療用藥品ノ検査證明ヲ業トスルモノ藥品證明方心得

明治三十年九月
內務省令第二六號

藥劑師化學者及會社等ニシテ醫療用藥品ノ検査證明ヲ業務トスル者ハ藥品ノ性狀品質日本藥局方ニ記載アルモノハ該局方記載ナキモノハ其ノ據ル所ノ外國藥局方ノ所定ニ適合スルモノニアラサレハ試驗濟印紙ヲ貼付シ又ハ適合ノ證明ヲ與フルコトヲ得ス違背シタル者ハ貳圓以上拾圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ニ依リ處罰セラレタル者ハ爾後検査證明ノ業務ヲ停止又ハ禁止スルコトアルヘシ停止禁止ノ命令ニ背キ検査證明ヲ爲シタル者ハ五圓以

上貳拾圓以下ノ罰金ニ處ス

○阿片法ニ依リ納ムヘキ阿片賣下代價ハ收入印紙ヲ以テ納入ノ件

明治卅二年三月
勅令第六五號

阿片法ニ依リ納ムヘキ阿片賣下代價ハ收入印紙ヲ以テ之ヲ納ムヘシ
本令ハ明治三十二年四月一日ヨリ施行ス

○賣藥規則外製劑取締規則

明治卅二年九月
大阪府令第八二號

第一條 此規則ニ於テ製劑ト稱スルハ配伍スル藥品ノ單味ト數味トヲ問ハス治病ノ目的ニアラスシテ調製販賣スルモノヲ云フ其品類左ノ如シ

- 一 飲食物ノ防腐防臭或ハ飲料ノ溷濁ヲ澄ス爲メ用ユルモノ
- 二 汚穢物ニ撒布シ或ハ灌漑シテ惡臭ヲ除ク爲メ用ユルモノ又ハ防腐消毒ノ目的ヲ以テスル石鹼ノ類

三 鼠取蠅取蚊遣蚤取其他昆蟲ヲ驅逐スル爲メ用ユルモノ

四 染髮料涅齒料齒磨及危害ノ恐アル藥品ヲ配伍スル化粧品

第二條 賣藥規則外製劑ヲ製造販賣セントスルモノハ方名藥味分量製法用法効能ヲ詳記シ第一號書式ニ依リ原品ヲ添ヘ郡市區役所ヲ經テ當廳ニ願許可證ヲ受クヘシ其製劑ノ藥味ヲ加減シ若クハ劑名用法用量効能ヲ變更セントスルトキ亦同シ

第三條 包紙容器等ニハ製劑者ノ住所氏名ヲ記載シ封緘ヲ爲スヘシ

第四條 他府縣ニ於テ許可ヲ得タルモノ及外國ヨリ輸入シタル製劑ヲ受賣又ハ行商セントスルモノハ第二號書式ニ依リ當廳ニ願出許可證ヲ受クヘシ

第五條 許可證ヲ毀損亡失シタルトキハ其再渡ヲ方名住所氏名ヲ變更シタルトキハ其書換ヲ第二條ノ手續ニ依リ願出ツヘシ

第六條 廢業死亡又ハ他府縣へ轉籍シタルトキハ十日以内ニ第二條ノ手續ニ依リ願出許可證ヲ返納スヘシ

第七條 警察官ニ於テ必要ト認メタルトキハ何時タリトモ製劑所店舗製品及許可證ヲ検査スルコトアルヘシ

第八條 私ニ藥味分量ヲ増減變更シタルモノハ其製劑ノ發賣ヲ禁止シ許可ヲ取消スコトアルヘシ

第九條 本則第二條乃至第六條ニ違背シ又ハ第七條ノ検査ヲ拒ミタル

モノハ二日以上五日以下ノ拘留ニ處シ又ハ五拾錢以上壹圓五拾錢以下ノ科料ニ處ス

附 則

第十條 本則ハ明治三十二年十月一日ヨリ施行ス
第一號書式

賣藥規則外製劑検査願

一劑名

藥味分量

製 法

用 法

効 能

右ノ方劑調製發賣仕度候間許可證御下付相成度原品相添へ此段奉願候也

明治 年 月 日

大阪府何市郡區長村番地(寄留ナレハ
原籍ヲ併記ス)身分職業

氏 名 印

大阪府知事宛

第二號書式

賣藥規則外製劑請賣(行商)願

一劑名

營業人住所

氏 名

右ノ製劑請賣(行商)仕度依テ別紙發賣願書及許可證書寫(外國輸入ニ係ルモノハ調劑書)相添へ此段奉願候也

明治 年 月 日

肩書第一號書式ニ同シ

氏

名印

宛名前ニ同シ

△賣藥規則外製劑取締ニ關スル件

明治三十二年十月
大阪府訓令第七二號

郡役所、市役所、區役所、町村役場

本年九月府令第八十二號賣藥規則外製劑取締規則第四條第二號書式ニ依リ出願ノ際發賣願書及許可證寫又ハ配劑書等添付シ能ハサル場合ハ其理由ヲ付シ現品ヲ添へ出願セシムル義ト心得ヘシ

○鼠驅除用燐及亞砒酸ノ取締

明治三十三年六月
內務省訓令第六一二號

廳 府 縣

「ペスト」病豫防ノ爲メ當分ノ內必要アルトキハ當該吏員ヲシテ燐及亞砒酸ヲ鼠驅除ノ目的ニ使用セシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ危險豫防ノ爲メ藥品ノ取扱ニ關スル必要ナル手續ヲ定ムヘシ

○賣藥ノ方面ニ日本藥局方又ハ外國藥局方ニ
登載シタル藥品名ヲ製用スヘカラサルノ件

明治卅五年五月衛甲第二七號
衛生局長ヨリ大阪府知事ヘ

近來賣藥ノ方名ニ日本藥局方又ハ外國藥局方ニ登載セラレタル藥品名ヲ其儘製用スル者尠カラス右ハ醫藥ト混同スルノ虞アルニ付斯ノ如キ方名ハ最初出願ノ際許可相成ラサル様致度又劇藥其他有力藥品ヲ配伍シタル賣藥ニシテ之カ多量ヲ一時ニ服用スルトキハ危害ノ虞アル製劑ニ何等ノ分割裝置ヲ施ストナク長日ノ用量ヲ一器ニ格納シ發賣スル者有之右ハ明治十九年訓令第三十二號第九項ニ牴觸スル儀ト被存候ニ付是又御注意相成度依命此段及通牒候也

○血清藥院血清賣下規則

明治三十五年六月
內務省令第一五號

第一條 血清藥院ニ於テ製造賣下ノ血清ハ左ノ各種トス

一 「チフテリア」血清 一 破傷風血清

第二條 醫師、藥劑師又ハ藥種商ニ於テ血清ヲ要スルトキハ直ニ血清

藥院ニ賣下ヲ請求スヘシ但シ製造上ノ都合ニ依リ直ニ送付スルコト能ハサル場合ニ於テハ血清藥院ヨリ豫メ其ノ送付期日ヲ請求者ニ通知スヘシ

官衙、公署其ノ他公共團體ニ於テハ前條ニ準シ血清ノ賣下ヲ血清藥院ニ請求スルコトヲ得

血清藥院ニ於テ外國ヨリ血清ノ請求ヲ受ケタルトキハ内國ノ供給ヲ妨ケサル限リ之ニ應ヌコトヲ得

第三條 各種血清ノ區別及定價ハ左ノ如シ但シ運賃ヲ要セス
液體「デフテリア」血清

第一號 金六拾錢

第二號 金壹圓

第三號 金壹圓五拾錢

乾燥「デフテリア」血清 金五圓

液體破傷風血清

第一號 金七拾錢

第二號 金貳圓五拾錢

乾燥破傷風血清 金六圓五拾錢

内國ニ於ケル藥劑師(現ニ藥品營業ヲ爲スモノ)藥種商ニハ定價ニ割引ニテ賣下ク
ルヲ以テ定價ヲ超ヘ販賣スルコトヲ得ス

第四條 外國ニ發送スル血清ノ定價ハ内國賣下價格ノ二倍トス

第五條 血清藥院ニ納付スル血清代價ハ内國ニ在テハ總テ收入印紙ヲ以テ納ムヘシ

第六條 血清請求壘數ニ對シ納付ノ代價ニ過不足アルトキハ納付代價相當ノ壘數ヲ送付スルモノトス但シ一壘ノ代價ニ滿タサル分ハ切捨トス

第七條 此ノ規則ハ明治三十五年六月二十日ヨリ施行ス

第八條 明治三十四年內務省令第三十七號實布埜利亞血清賣下規則ハ此ノ規則施行ノ日ヨリ廢止ス

△血清其他細菌學的豫防治療品取締方

明治卅六年六月衛甲第四四號
衛生局長ヨリ大阪府知事へ

血清其ノ他細菌學的豫防治療品ニ關シテハ取締方一定セサリシ處今回「ヂフテリア」血清破傷風血清及「ツヘルクリン」ヲ日本藥局方ニ追加相成候ニ就テハ右以外ノ血清其他細菌學的豫防治療品ト雖モ當然藥品トシテ取扱フヘキモノニ有之候條明治二十二年法律第十號藥品營業並藥品取扱規則ニ依リ御取締相成度此段依命及通牒候也

△賣藥營業稅鑑札料ニ關スル件

明治卅六年六月衛甲第四六號
衛生局長ヨリ大阪府知事へ

去月四日付衛發第一四八號ヲ以テ賣藥方名變更等之儀ニ付高知縣ト照覆ノ次第及通牒置候處十二年七月高知縣伺及十五年一月山形縣伺ニ對スル指令有之候爲營業稅鑑札料ノ徵收ニ關シ疑義ヲ生シ候向モ有之候得共既ニ營業稅鑑札料ヲ納メ營業ノ免許ヲ得タル者ニ對シ單ニ方名ノ

ミノ變更ヲ以テ新規出願セシメ營業稅鑑札料ヲ徵收スルハ賣藥規則ノ解釋上不穩當ナルノミナラス取扱上頗ル酷ニ失スルノ嫌有之候ニ付自今此ノ場合ニ於テハ營業稅鑑札料ヲ徵收セサルユトニ省議決定致候條唯地方ノ狀況ニ應シ取締ノ必要上方名ノ變更ニ關シ出願規定ヲ設クル等相當取締方御制定相成候様致度依命此段重テ及通牒候也

○「ヂフテリア」血清

明治三十六年六月
內務省令第三號別冊

Serum antidiphthericum.

「ヂフテリア」血清ハ「ヂフテリア」毒藥ヲ以テ免疫シタル馬ノ血清ニシテ硝子壘ニ容レ封緘ヲ施シ製造所名、一立方「センチメートル」中ノ免疫單位數一壘中ノ免疫單位數、試驗番號、試驗年月日ヲ表記シ光線ニ觸レサル様包裝シタルモノナリ

本品ヲ「ブイヨン」並寒天培養基ニ好氣性及嫌氣性培養法ヲ行フニ無菌ナラサルヘカラス

(甲) 液體「ヂブテリア」血清

Serum antidiptthericum liquidum.

本品ハ類黄色澄明或ハ微ニ濁セル液ニシテ貯藏ノ目的ニ添加シタル防腐劑ノ臭氣ヲ有ス

本品一立方「センチメートル」中ニハ五百免疫單位以上ヲ有セサルヘカラス但本品ハ一壺中ノ免疫單位數ニ從ヒ通常左ノ三種ニ區別ス

第一號

六百免疫單位

第二號

千免疫單位

第三號

千五百免疫單位

本品〇、五立方「センチメートル」ヲ體重約十五「グラム」ノ南京鼠ノ皮下ニ及其十立方「センチメートル」ヲ「モルモット」ノ皮下ニ注射スルニ之ヲ致死セシム可カラス

本品ノ著シク濁濁シ又ハ多量ノ涎滓ヲ含ムモノハ供用ス可カラス

冷暗所ニ注意シテ貯フヘシ但一年以上ニ過クニカラス

(乙) 乾燥「ヂブテリア」血清

Serum antidiptthericum siccum.

本品ハ乾燥シタル「ヂブテリア」血清ニシテ黄色透映ノ小葉片或ハ帶黄白色ノ粉末ナリ

本品一「グラム」ハ少クモ五千免疫單位ヲ有シ防腐劑及其他ノ添加物ヲ含有スヘカラス

本品ヲ十分ノ水ニ溶解シタルモノハ液體「ヂブテリア」血清ト同一ノ外觀ヲ呈スヘシ

本品ヲ十分ノ滅菌水ニ溶解シタルモノ、試験ハ液體「ヂブテリア」血清ノ條ニ掲ケル所ニ準據スヘシ

冷暗所ニ注意シテ貯フヘシ

本品ハ用ニ臨テ石炭酸水(1:200)又ハ滅菌水ヲ以テ稀釋スヘシ

○破傷風血清

五七八

Serum antitetanicum.

破傷風血清ハ破傷風毒素ヲ以テ免疫シタル馬ノ血清ニシテ硝子壺ニ容
ノ封緘ヲ施シ製造所名、一立方「センチメートル」中ノ免疫單位數、一
壺中ノ免疫單位數、試験番號、試験年月日ヲ表記シ光線ニ觸レサル様
包装シタルモノナリ

本品ヲ「ブイヨン」並寒天培養基ニ好氣性及嫌氣性培養法ヲ行フニ無菌
ナラサルヘカラス

(甲)液體破傷風血清

Serum antitetanicum liquidum.

本品ハ類黃色澄明或ハ微ニ濁濁セル液ニシテ貯藏ノ目的ニ添加シタル
防腐劑ノ臭氣ヲ有ス

本品一立方「センチメートル」中ニハ五免疫單位以上ヲ有セサル可カラ

ス但免疫單位ノ計算ハ「ベリリング」ノ方法ニ據ル

本品〇、五立方「センチメートル」ヲ體重十五「グラム」ノ南京鼠ノ皮下
ニ及其十立方「センチメートル」ヲ「モルモット」ノ皮下ニ注射スルニ之
ヲ致死セシム可カラス

冷暗所ニ注意シテ貯フヘシ但一年以上ニ過クヘカラス

本品ノ著シク濁濁シ又ハ多量ノ涎滓ヲ含ムモノハ供用スヘカラス

(乙)乾燥破傷風血清

Serum antitetanicum siccum.

本品ハ乾燥シタル破傷風血清ニシテ透映ノ小葉片或ハ帶黃白色ノ粉末
ナリ

本品一「グラム」ハ少クモ五十免疫單位ヲ有シ防腐劑及ヒ其他ノ添加物
ヲ含有スヘカラス

本品ヲ十分ノ水ニ溶解シタルモノハ液體破傷風血清ト同一ノ外觀ヲ呈

ス可シ

本品ヲ十分ノ滅菌水ニ溶解シタルモノ、試験ハ液體破傷風血清ノ條ニ
掲クル所ニ準據ス可シ

冷暗所ニ注意シテ貯フ可シ

○「ツベルクリン」

Tuberculinum.

「ツベルクリン」ハ結核菌ノ偪里設林「ブイヨン」培養ヲ蒸發シ十分一容
量ニ濃縮シ濾過シタル液ニシテ硝子壺ニ容レ封緘ヲ施シ製造所名、試
驗番號、試験年月日ヲ表記シ光線ニ觸レサル様包裝シタルモノナリ
本品ハ澄明褐色ニシテ特異ノ香氣ヲ有シ水ニ容易ニ混和シ有效成分ノ
外百分中約四十分ノ偪里設林並「ブイヨン」ノ成分ヲ含有ス
本品○、一五乃至○、二五「グラム」ヲ豫メ七乃至九週日間ニ致死セシ
ムル量ノ結核菌培養ヲ皮下ニ接種シテ三週日ヲ經タル體重約三百「グ

ラム」ノ「モルモット」ノ皮下ニ注射スルニ二十四時間ニ致死セシメサ
ル可カラス又其「モルモット」ハ剖檢上「ツベルクリン」ニ特異ノ變狀ヲ
呈シ其他ノ疾患ヲ認ム可カラス

本品ニ「グラム」ヲ健康ナル「モルモット」ノ皮下ニ注射スルニ之ヲ致死
セシム可カラス

本品ヲ「ブイヨン」並寒天培養基ニ好氣性及嫌氣性培養法ヲ行フニ無菌
ナラサル可カラス

冷暗所ニ注意シテ貯フヘシ但一年以上ニ過クヘカラス

本品ハ用ニ臨テ石炭酸水(1:200)又ハ滅菌水ヲ以テ稀釋ス可シ

(第三表)

「デブテリア」血清

破傷風血清

「ツベルクリン」

(十)

日本藥局方藥品索引

破傷風血清	頁	「ヂブテリア」血清
(ハ)		(ツ)
		「ツメルクリン」

INDEX NOMINUM.

S.

pag.

Serum antidiphthericum.....1.

antitetanicum.....1.

T.

Tuberculinum.....2.

○痘苗及血清其他細菌學的豫防治療品製造取締規則 明治卅六年六月
內務省令第五號

- 第一條 痘苗及血清其他細菌學的豫防治療品ヲ販賣ノ目的ヲ以テ製造セムトスルモノハ左ノ事項ヲ具シテ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ
- 一 製造所ノ名稱及位置
 - 二 製造品ノ種類、製造ノ方法、有効期限、販賣價格
 - 三 製造所ノ建物畜舎ノ構造、敷地ノ坪數及圖面
 - 四 所長及主任技術者ノ氏名履歷
- 前項ノ認可ヲ受ケタル後前各號ノ事項ニ變更ヲ要スルトキハ更ニ認可ヲ受クヘシ

第二條 地方長官ハ必要ト認ムルトキハ本則ノ認可ヲ取消スコトアルヘシ

第三條 本則施行ノ際痘苗及血清其他細菌學的豫防治療品ヲ販賣ノ目的ヲ以テ製造スルモノハ本則施行ノ日ヨリ四箇月以内ニ本則ニ依リ

認可ヲ受クヘシ

第四條 本則ニ違背シタルモノハ貳拾五圓以下ノ罰金又ハ二十五日以
下ノ重禁錮ニ處ス

第五條 本則ハ明治三十六年七月一日ヨリ施行ス

第六條 東京府ニ在リテハ地方長官ノ職務ハ警視總監之ヲ行フ

△賣藥鑑札料ニ關スル件

明治三十六年九月衛甲第五七號
衛生局長ヨリ大阪府知事へ

賣藥鑑札料ノ義ニ關シ左記ノ通長野縣ト照覆ニ付爲御參考此段及通牒
候也

賣藥規則第十七條ニ於テ水火盜難ノ場合ハ鑑札料ノ半額ヲ徵收セラル
、規定アルモ遺失轉居等ニ關スル鑑札書換ノ場合ニ於テハ何等規定無
之モ不可抗力ノ場合ト異ルヲ以テ鑑札料ノ全額ヲ徵收スヘキモノト思
考セラレ候得共客月三十日衛甲第四六號ヲ以テ御通牒ニ係ル方名變更
ノ際ニ於テ鑑札料ヲ全免セラル、場合モ有之候ニ付聊カ疑義相生シ候

云々(明治三十六年七月長郡縣問合)

來示衛甲第四六號通牒ノ趣旨ハ單ニ賣藥ノ方名ノミ

ヲ變更セムトスル場合ニ前方許可ノ効ヲ失ハシメ新規許可ヲ出願セシ
メ尙其結果トシテ更ニ營業稅鑑札料ヲ徵收スルハ不可然ト云フニ過キ
スシテ鑑札遺失等ノ爲新規ニ之ヲ附與スル場合ノ如キハ從來ノ通鑑札
料ノ全部ヲ徵收スヘキ義ト御承知相成度尤モ轉居等ニ關シテハ場合ニ
ヨリテハ便宜朱書ヲ以テ訂正スル等一々更ニ鑑札ヲ下附スルニ及ハサ
ルハ勿論ノ義ト被存候(明治三十六年九月衛生局長回答)

△賣藥鑑札料ニ關スル件

明治卅六年九月衛甲第五八號
衛生局長ヨリ大阪府知事へ

賣藥鑑札料ノ義ニ關シ左記ノ通香川縣知事ト照覆ニ付爲御參考此段及
通牒候也

客月三十日付衛甲第四六號ヲ以テ賣藥方名變更ノ場合營業稅鑑札料徵
收セサルコトニ省議決定ノ旨ヲ以テ御通牒相成候處從來本縣ニ於テハ

方名變更許可スル場合舊鑑札ニ訂正記入スルニ留マルモノ、如キハ鑑札料徴收セサルモ再三方名ノ變更ニシテ既ニ記入スヘキ餘地ナク新ニ鑑札ヲ書換スル時ハ別紙愛媛縣伺ニ對スル御指示ニ依リ徴收致居候モ今回御通牒ノ趣旨ニ依リ假令新鑑札ニ書換下付スル場合ト雖方名變更而已ニ限リ鑑札料ヲ徴收セサル義ニ有之候哉將タ又藥味分量用法効能ノ如キ賣藥ノ實質ヲ變更スルモノ而已ニ鑑札料ヲ徴收シ其他ノ町村番戶若ハ姓名ニ變更ヲ來シタルモノハ方名變更ト同等鑑札料ヲ徴收セサル義ナルヤ(明治三十六年七月香川縣問合)數度賣藥ノ方名ヲ變更シテ最早訂正記入ノ餘地ナキニ至リ新ニ鑑札ヲ書換附與スル場合ノ如キハ其方名ヲ變更セルノ結果ニ非スシテ記入ノ餘地ナキニ至リタル爲別ニ鑑札ヲ附與スル者ナルカ故其ノ點ヲ理由トシテ更ニ鑑札料ヲ徴收相成可然(明治三十六年九月衛生局長回答)

△賣藥並賣藥部外品營業者處分ノ節
報告方ノ件
明治卅六年十月衛生發第三〇二號
衛生局長ヨリ大阪府知事へ

賣藥並ニ賣藥部外品營業者處分ノ節ハ之ヲ告示スルト否トニ拘ハラス其都度御報告相成候様致度此段及通牒候也

○賣藥並ニ藥品ヲ配伍シタル物品ニシテ賣藥ニ屬セサルモノ、收去ニ關スル件
明治三十七年九月
內務省令第一四號

第一條 賣藥並ニ藥品ヲ配伍シタル物品ニシテ賣藥ニ屬セサルモノハ行政執行法施行令第三條ニ依リ試驗ノ用ニ供スルタメ必要ナル分量ヲ收去スルコトヲ得

第二條 前條ニ依リ收去ヲ執行スル場合ニ於テハ明治三十三年內務省令第十號第二條第三條ノ規定ヲ準用ス

△賣藥ノ名稱ニ於テ煙草ノ代用品類似ノ物品注意方ノ件
明治卅七年十一月衛甲第八一號
衛生局長ヨリ大阪府知事へ

別紙寫ノ通り煙草專賣局ヨリ依頼ニ付之ニ相當スル賣藥出願ノ際ハ特ニ御注意相成候様致度此段申進候也

(別紙)

明治三十七年十月煙草專賣局長ヨリ衛生局長へ

煙草專賣法第三十五條ニ依リ營業ノ目的ヲ以テ煙草ニ代用スヘキ物品ヲ製造販賣スルヲ得サル義ニ有之從テ相當ノ取締ヲ要スヘキ義ニ有之候ニ付テハ將來賣藥ノ名稱ニ於テ右代用品類似ノ物品ヲ調製發賣ノ申請ヲ爲スモノ有之候トキハ夫々御注意相成候様致度御依頼旁此段及照會候也

第五節 藥品巡視

○藥品巡視規則

明治廿二年三月
內務省令第四號

- 第一條 衛生官吏警察官吏及ヒ藥劑師ヲ以テ監視員ト爲シ藥局及ヒ藥品ヲ販賣又ハ製造スル場所ヲ巡視セシムヘシ
- 第二條 監視員藥局ヲ巡視スルトキハ左ノ各項ヲ檢查スヘシ
 - 一 藥品
 - 二 藥品營業並藥品取扱規則第十二條第十三條第二十八條第二十九條第三十六條第三十七條ノ事項
 - 三 調劑錄
- 第三條 監視員藥品ヲ販賣又ハ製造スル場所ヲ巡視スルトキハ左ノ各項ヲ檢查スヘシ
 - 一 藥品

二 藥品營業並藥品取扱規則第二十二條第二十八條第二十九條第三十六條第三十七條ノ事項

第四條 監視員ハ公私立病院及醫師ノ調劑所ニ臨ミ藥品ヲ検査スルコトアルヘシ

第五條 第二條第三條ノ外ニ於テ藥品ヲ貯藏スル場所アレハ其場所ニ就キ検査スルコトアルヘシ

第六條 巡視ノ期日ハ豫メ告示セス其時間ハ午前八時ヨリ午後五時迄ノ間トス

第七條 監視員ハ必要量ノ藥品ヲ携歸シテ検査スルコトアルヘシ

第八條 監視員ノ検査ニ消費シタル藥品ハ其代價ヲ請求スルコトヲ得ス

△藥品巡視鑑札ニ關スル件 明治二十二年九月 內務省訓令第三八號 廳 府 縣
明治二十二年三月 法律第十號監視員ノ巡視ハ同年同 當省令第四號ニ依リ

其廳ニ於テ施行シ且右ニ係ル費用 監視員ノ奉給 旅費日當共 及藥種商製藥者鑑札製作費ハ其廳經費定額内ヲ以テ支辨スル義ト心得ヘシ
但監視員ノ携帶スヘキ證票ハ左ノ雛形ニ準シ其廳ニ於テ交附シ尙ホ之ヲ管内ニ告示ヘスシ

紙製

曲尺貳寸貳分

表 藥品監視員之證

六

裏

廳 府

縣 名

廳 印

○藥品監視員證票

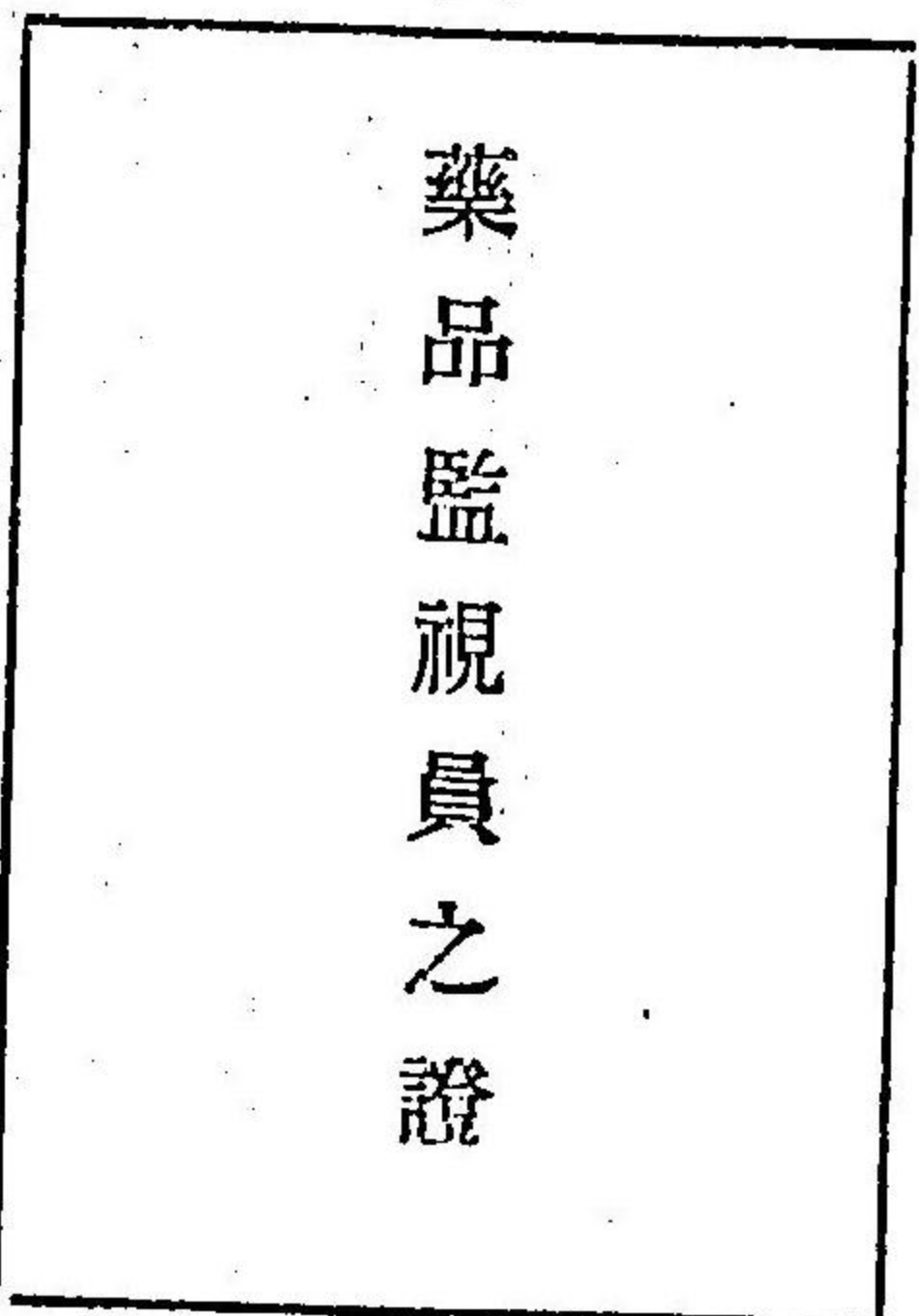
明治二十三年二月
大阪府告示第二九號

藥品巡視ノ節監視員ノ携帶スヘキ證票ハ左ノ如シ

(雛形) 紙製

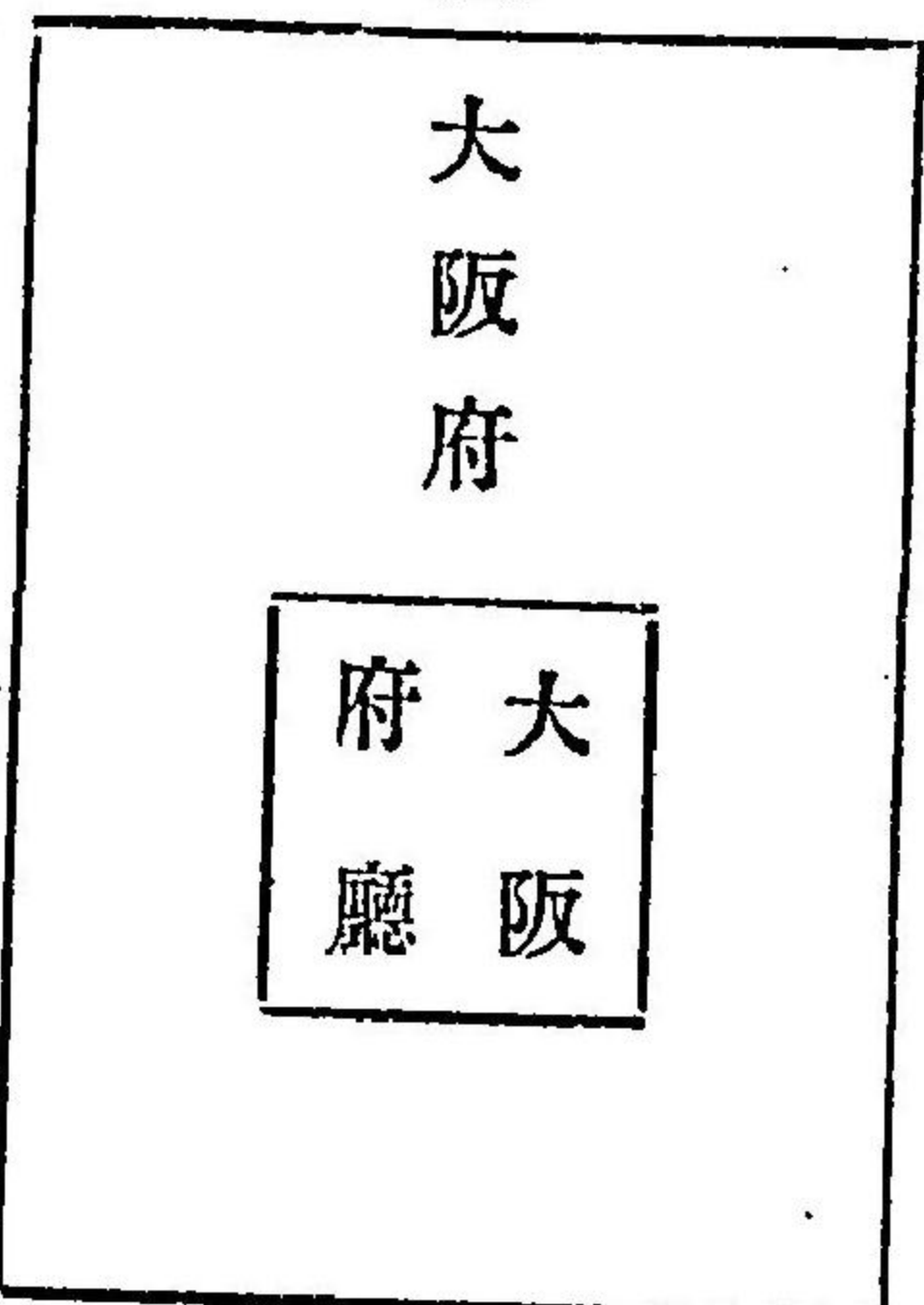
曲尺二寸二分

表 藥品監視員之證



シテ

裏 大阪府



△藥品巡視規則中疑義ノ件

明治二十二年三月法律第十號藥品營業

並藥品取扱規則及同年同月省令第四號藥品巡視規則中疑義ノ廉左記ノ

通有之候條至急何分ノ御指令相成度此段相伺候也 一藥品營業並ニ藥品取扱規則第十三條ニ藥局ニ備付ノ秤量器ハ最モ精確ナルヲ要シ權衡ハ少クモ一(サンチグラム)ヲ定量シ得ルモノヲ備フヘシト有之又藥品巡視規則第四條ニ監視員ハ公私立病院及醫師ノ調劑所ニ臨ミ藥品ヲ檢査スルコトアルヘシト有之候ヘハ右精確ナル秤量器及一(サンチグラム)ヲ定量シ得ル權衡ヲ備フルハ藥劑師ノ藥局ニ限ルモノニシテ醫師ノ調劑所ニハ備付ヲ要セサルモノ、如シ然ルニ第十三條ノ目的ハ藥品分量ヲ精確ナラシメントスルモノニ外ナラサルヘシ果シテ然ラハ藥劑師ノ開設セル藥局ニ限ラス醫師ニ於テ調劑スル場合ニ於テモ藥品ノ分量ハ精確ナルヲ要スヘキ儀ト被存候得共法律規則中別ニ規定ナキヲ以テ醫師ノ調劑所ニハ右精確ナル秤量器及一(サンチグラム)ヲ定量シ得ヘキ權衡ヲ備フルニ及ハサル義ト相心得可然哉 二藥品營業並ニ藥品取扱規則第二十九條ニ毒藥劇藥ハ他ノ藥品ト區別シ毒藥ハ鎖鑰ヲ

備へタル場所ニ貯藏スヘシト有之候處右過誤危害ヲ豫防スルノ目的ニ可有之果シテ然ラハ藥劑師ノ藥局醫師ノ調劑所、藥種商ノ店頭等ニミ限ラス藥品ヲ貯藏スル倉庫内等ニ於テモ本條ノ通區別セシムル儀ト相心得可然哉 三藥品巡視員、藥劑師ノ藥局又ハ藥品ノ販賣所ニ臨ミ檢査ノ際藥品巡視規則第六條ノ時限ニ至ルモ猶各項ノ檢査ヲ終了セサル場合ニ於テハ其檢査ヲ休止スヘキ儀ト相心得可然哉前段ノ如ク休止スルモノトスルモ監視員ニ於テ當日中ニ檢査ヲ終了スヘシト認め當業者ニ於テ之ヲ承諾セシ場合ニ於テハ時限後ニ檢査スルモ不苦儀ト相心得可然哉 (明治二十五年九月宮城縣同) 藥品營業並藥品取扱規則及藥品巡視規則中疑義ノ件總テ同ノ通 (明治廿五年九月内務省指令)

△官吏ニ非サル藥劑師ニ監視員ヲ命シタル 明治三十一年六月内務省訓令第五二七號
トキ旅費支給方

明治二十二年本省令第四號藥品巡視規則ニ依リ官吏ニ非ラサル藥劑師

ニ監視員ヲ命シタルトキ明治三十年勅令第三百三十三號内國旅費規則別表四等旅費ヲ支給スヘシ

△藥品巡視成績報告方 明治三十三年十一月衛甲第一二五號衛生局長ヨリ大阪府知事ヘ
明治三十二年一月一日以後御施行相成候藥品巡視ノ成績別紙様式ニ依リ十一月二十日限リ御報告相成度尙爾今施行セラレ候節ハ毎回同様式ニ依リ御報告有之度此段命ニ依リ及御通牒候也
(別紙様式)

藥品巡視施行成績

其 一 施行日 何日間
自明治何年何月何日至何年何月何日

其 二 監視員

衛生官吏	警察官吏	藥劑師
官職氏名	官職氏名	官職氏名

第廿六條違反				一			
第卅二條違反				三			
第三十條違反			一	一三			
第廿九條違反			七				
第卅六條違反							
第卅七條違反							
合計							

記載方

一 本表ハ藥品巡視ヲ施行シ了リタルトキ毎次地方廳ヨリ報告スル

モノトス

- 二 其一ニハ施行シタル年月日及其日數ヲ記スヘシ
- 三 其二ニハ監視員タル衛生官吏、警察官吏及藥劑師ノ各官職氏名ヲ記スヘシ
- 四 其三ニハ施行シタル場所ヲ記スヘシ全郡ニ涉リタルトキハ其郡名ヲ記シ一部ノ町村ニノミ行フタルトキハ郡町村名ヲ記シ全市ニ行フタルトキハ其市名ヲ記シ市ノ一部ニ行フタルトキハ其區町又ハ大字名ヲ記スヘシ
- 五 其四ニハ全施行地ニ於ケル施行個所ヲ藥劑師製藥者藥種商醫師病院ノ五類ニ分別シテ記スヘシ
- 六 其五ニハ施行ノ結果不良ノ藥品ヲ發見シタル個所及其個數ヲ前同様五類ニ分別シテ記スヘシ
- 七 其六ニハ施行ノ結果規則違反ノ事實ヲ發見シタル全數ヲ前同様

五類ニ分別シテ記スヘシ但此全數ニハ單ニ注意ヲ與ヘタル者ト告發シタル者トヲ包含ス

○藥品巡視施行成績報告方

明治卅七年一月衛甲第一七四號 大阪府警部長ヨリ警察官署長ヘ

藥品巡視施行ノ際ハ毎回別紙様式ニ依リ成績表ヲ調製シ施行終了後三日内ニ報告セラルヘシ此段及通達候也

追テ藥品巡視施行ノ際ハ當部ヨリ監視員タル衛生官吏又ハ藥劑師ヲ派遣スヘキニ付共同施行セラルヘシ

藥品巡視施行成績表

其一

施行日

自明治何年何月何日

何日間

至同

年何月何日

其二

監視員

衛生官吏	警察官吏	藥劑師
官職一氏名	官職一氏名	官職一氏名

施行地					
-----	--	--	--	--	--

其三

施行地

何郡何村(町)

何市又ハ何市ノ内何區

其四

施行箇所

藥劑師	製藥者	藥種商	醫師	病院	合計

其五

不其藥品ノ發見

發見ノ箇所	藥劑師	製藥者	藥種商	醫師	病院	合計

發見ノ個數

其六

規則違反者

	藥劑師	製藥者	藥種商	醫師	病院	合計
調劑録ニ關スル件						
第十二條違反						
第十三條違反						
第廿六條違反						
第廿八條違反						
第廿九條違反						

六〇一

第卅二條違反	
第三十條違反	
第廿三條違反	
第卅六條違反	
第卅七條違反	
合計	

右報告候也

年月日

何々警察(分)署長

官氏

名印

警部長宛
記載例

六〇三

- 一 其一ニハ施行ノ年月日及其日數ヲ記スヘシ
 - 二 其二ニハ監視員タル衛生官吏、警察官吏及藥劑師ノ各官職氏名ヲ記スヘシ
 - 三 其三ニハ施行シタル場所ヲ記スヘシ
 - 四 其四ニハ施行地ニ於ケル施行個所ヲ藥劑師、製藥者、藥種商、醫師、病院ニ類別シテ記スヘシ
 - 五 其五ニハ施行ノ結果不良ノ藥品ヲ發見シタル個所及其個數ヲ前同様類別シテ記スヘシ
 - 六 其六ニハ施行ノ結果規則違反ノ事實ヲ發見シタル全數ヲ前同様類別シテ記スヘシ但此全數ニハ單ニ注意ヲ與ヘタルモノト告發シタルモノトニ包含ス
- 藥品監視トナリタル警察官ハ證票ノ携帶ヲ要スルノ件 藥品巡視規則ニ依リ監視員トナリタル警察官證票携帶ノ件藥品巡視規則ニ依リ

監視員トナリタル警察官ニ限り證票携帶ニ及ハサル者ノ如シ御意見如何(明治三十五年四月)警察部照會ノ藥品巡視員ノ件ハ警察官モ證票ヲ携帶スヘキ義ト存ス(明治三十五年四月)衛生局長回答

明治三十八年一月二十日印刷
明治三十八年一月廿五日發行

(定價金四拾錢)

著作兼
發行者

北村晴松

大阪市西區江ノ子島
東ノ丁第六號官舎

印刷人

森本喜兵衛

大阪市西區江戶堀
北通三丁目卅三番邸

印刷所

森本活版所

大阪市西區江戶堀
阿波股橋北詰西入

